

商業印刷向け連帳インクジェットプリンター 「Jet Press 1160CFG」を初出展

2024年3月25日

富士フイルムグループは、drupa2024にて世界展開する商業印刷向け連帳インクジェットプリンター「Jet Press 1160CFG」を初出展します。

当社は、1970年代後半よりインクジェット技術の開発に着手し、2011年に世界初のシングルパス枚葉インクジェットプリンター Jet Press 720 を発売しました。1200dpiの高解像印刷とオフセット印刷を凌駕する高品質を実現し、ワールドワイドの商業印刷市場においてこれまでに累計300台以上の販売実績があります。

同じく2011年には、連帳インクジェットプリンターを日本・アジアパシフィックのトランザクション市場に、2019年には日本の商業印刷市場に向けて販売を開始しました。トランザクション市場に対しては、当社開発のプリントサーバーによりバリエーションの高速大量安定出力を、商業印刷市場に対しては、プレコートレスインクによりお客様が求める高画質を実現しました。日本・アジアパシフィックにて、これまでに累計150セット以上を販売し、トップクラスの販売シェアを獲得してきました。

当社はこの度、これらのインクジェット事業で長年培った経験と技術力を結集し、お客様のニーズに対応するために開発した商業印刷向け連帳インクジェットプリンター「Jet Press 1160CFG」をdrupa2024にて初出展します。新開発の水溶性顔料インクの採用により、非コート紙・インクジェット専用紙に加え、オフセットコート紙への高画質な印刷を実現しました。また、「Jet Press 1160CFG」は富士フイルムグループ独自の新技术「ペーパースタビライザー^{*1}」を採用した革新的なインクジェットプリンターです。インクジェット前に用紙コンディションを制御する新たなコンセプトを採用することで、「厚紙でのインク定着性」「薄紙での波打ち」「環境や季節による品質変動」といったこれまで連帳インクジェットプリンターのお客様が抱えていた生産課題を解決します。ダイレクトメールやパンフレットをはじめとする商業印刷の幅広い用途で活用が可能です。drupa2024ではこの新たな技術をデモンストレーションにて初披露します。

当社は、同商品の提供を通じ、お客様のビジネスにおける付加価値向上と省力化を実現するとともに、今後もお客様の印刷ビジネス拡大に貢献してまいります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

^{*1} 用紙コンディションを制御する技術

※プレスリリースに掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。